３種類の異なる周波数の「超音波振動子」を利用する技術を開発

関係各位
2011年7月12日
超音波システム研究所

３種類の異なる周波数の「超音波振動子」を利用する技術を開発 no.2

超音波システム研究所（所在地：神奈川県相模原市）は、
３種類複数の異なる周波数の「超音波振動子」を利用する技術を発展させました。

今回開発した技術は
定在波の制御技術に加え、
各超音波振動子の出力を調整することで、
キャビテーションと加速度の非線形効果を
目的に合わせて変化させるという技術です。

周波数４０ｋＨｚ、出力５０Ｗの超音波振動子を利用して、
１ミリの金属を1ミクロンの分散状態にすることも、
ダメージを発生させずに洗浄することも可能です。

オリジナルの超音波伝搬状態の測定・解析技術により、
振動子の固有の特徴に合わせた、
超音波利用技術として、各種を確認しています。

■参考動画

これは、新しい超音波技術であり、
超音波のダイナミック特性による一般的な効果を含め
新素材の開発、攪拌、分散、洗浄、化学反応実験・・・
に大きな特徴的な固有の操作技術として、
利用・発展できると考えています。

なお、今回の方法ならびに技術ノウハウをコンサルティング事業として、
展開することを計画しています。

原理の論理的な説明と
具体的な方法（技術）について
コンサルティング対応させていただく予定です。

【本件に関するお問合せ先】
超音波システム研究所
URL：http://www.green.dti.ne.jp/aabccdx/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com